

仁明朝史の研究

承和転換期とその周辺 角田文衛 監修・(財)古代学協会 編

▶ A 5 判・350頁／定価 7,350円 (税5%込) ISBN978-4-7842-1547-8 2011年3月刊 好評発売中

(財)古代学協会にて行われている平安時代をテーマとした共同研究の最新成果。仁明天皇(在位833～858)の時代は「承和時代」とも呼ばれ、平安京が安定するとともに「初期摂関政治」が姿を現し、和歌、楽舞、仏教儀式などが新たな装いを見せ、「国風文化」への地均しが行われた時代であった。文献史学・考古学・美術史など多岐にわたる気鋭の研究者を集結し、後の王朝文化の先駆けをなす重要な転換の時代である仁明朝の歴史的意義を多角的に解き明かし、日本国内にとどまらず東アジア世界の動向とも関連付ける。

内容目次

はしがき—仁明朝という時代—

吉川真司 (京都大学教授)

第一部

九世紀東部ユーラシア世界の変貌

—日本遣唐使関係史料を中心に—

山内晋次 (神戸女子大学准教授)

九世紀の調庸制—課丁数の変化と偏差—

九世紀の輸送体系

「化他」の時代—天長・承和期の社会政策と仏教—

平安京野寺(常住寺)の諸問題

吉川真司

佐藤泰弘 (甲南大学教授)

堀 裕 (東北大学准教授)

西本昌弘 (関西大学教授)

第二部

銭貨と土器からみた仁明朝

造瓦体制の変革期としての仁明朝

定額寺の修理と地域社会の変動

承和期の乾漆併用木彫像とその後の展開

平安時代前期の陵墓選地

斎宮・離宮院変遷の歴史的背景

—離宮院遷宮にみる古代王権と伊勢太神宮—

高橋照彦 (大阪大学准教授)

網 伸也 (京都市埋蔵文化財研究所)

菱田哲郎 (京都府立大学教授)

根立研介 (京都大学教授)

山田邦和 (同志社女子大学教授)

山中 章 (三重大大学教授)

あとがき

山田邦和

鈴木忠司 (古代学協会)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 【2011年6月27日より左記に移転】 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注 文 票		発 行 : 思 文 閣 出 版		(京都 取引コード 3402)	
冊 数	冊	仁明朝史の研究		本体 7,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1547-8
お 名 前		tel			
		e-mail			
ご 住 所	〒				
送本方法	☐ 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) ☐ 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				書店番線印

安祥寺資財帳

京都大学文学部日本史研究室 編／中町美香子・鎌田元一 編集・解説
安祥寺は平安時代に入唐僧・恵運が開山した真言系の密教寺院。本資財帳は、恵運が貞観9年(867)に自ら勘録したもので、建立の経緯、貞観9年段階での規模、資財などが記されており、巻首から巻尾まで備わった貴重な9世紀の資財帳史料の一つ。現存の諸本の祖にあたる京都大学蔵本(旧観智院蔵本)を影印で収録。釈文と解説を付す。
▶A5判・176頁／定価5,775円 ISBN978-4-7842-1516-4

後鳥羽院政の展開と儀礼

谷昇著
本書は、後鳥羽天皇(上皇)が課せられた政治課題とそれに対する対応＝政策理念が、宮中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図したものである。
▶A5判・328頁／定価6,300円 ISBN978-4-7842-1536-2

摂関時代文化史研究

関口力著 思文閣史学叢書
藤原道長の時代を中心に上げ、古記録・日記類をもとにして摂関時代全盛期に生きた人物、彼らをはぐくんだ社会について考察。政権を掌握した体制派、それに対する反体制派、そうした官人層とは一線を画した非体制派の人物群という基本的な人間類型を示すことにより、あくまで人間が主人公である歴史の在り方について追究する。
▶A5判・488頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1344-3

日本古代即位儀礼史の研究

加茂正典著 思文閣史学叢書
本書は大嘗祭はもちろん、剣璽渡御儀礼・即位式といった広義の即位儀礼をとりあげることにより、桓武・平城朝における即位儀礼の儀式的意味と歴史的意義を明らかにする。さらに資料篇として古代即位儀礼史料年表、新嘗祭・大嘗祭関係文献目録(昭和20年～平成10年)を収録し、巻末には索引を付す。
▶A5判・480頁／定価9,030円 ISBN4-7842-0995-6

日本古代養鷹の研究

秋吉正博著
律令国家体制の成立・展開期における養鷹の実態を究明して、放鷹文化の構造を解明。東アジアの国際情勢と照応しながら体制の内外を絶え間なく横断し展開する養鷹の社会的諸結合に現れた、朝鮮半島系と中国系という二極の放鷹文化の伝統意識を動的に捉えることにより、単なる遊興の道具ではない放鷹文化の展開を明らかにする意欲作。
▶A5判・280頁／定価6,825円 ISBN4-7842-1181-0

王権と都市

今谷明編
国際日本文化研究センターでの研究の集大成として、編者が壮大な展望のもと組織した共同研究「王権と都市に関する比較史的研究」の成果。日本、アジア・イスラーム、ヨーロッパの3領域から11篇の論文を収め、各時代・各地域での都市史のあり方を相互に比較検討し、「都市とは何か」という命題の解明に挑んだ一書。
▶A5判・372頁／定価7,140円 ISBN978-4-7842-1396-2

※宮城図

村井康彦・瀧浪貞子解説 陽明叢書記録文書篇 別輯
近衛家伝来の文庫襲蔵の記録及び文書中より中世の未公刊史料を中心に影印で刊行するシリーズ。本宮城図(重要文化財)は現存する内裏図としては最古の写本。史料価値の重要度から現本に忠実な複製を折本仕立てで作成。解説は宮城図の成立と伝存について考証し、内裏図変遷史に新しい研究成果を盛り込む。
▶A4判・折本・230頁／定価18,900円 ISBN4-7842-0917-4

続日本仏教美術史研究

中野玄三著
前著から約20年。現役引退後も市史編纂や博物館調査に携わり、美術作品の調査研究を続ける中から生まれた研究成果15篇。【内容】浄土教絵画篇 阿弥陀影現図論／知恩寺本十体阿弥陀像と観経十六観変相図 密教絵画篇 仁王経曼荼羅の展開／仁王経法と不動明王像 仏像・仏画篇 神護寺薬師如来立像再論／大將軍信仰とその造形 ほか
▶A5判・500頁／定価11,550円 ISBN4-7842-1269-8

兵範記人名索引

兵範記輪読会編
1980(昭和55)年の輪読会発足より蓄積された研究成果を人名索引として集成。(増補)史料大成本を底本とし、男子の部と女子の部の2部構成よりなり、人名項目のもとに掲出年月日と原文表記を掲げ、原本の情報を盛り込んだ、古代・中世史研究者必携の一書。
【内容】男子部／女子部／あとがき(兵範記輪読会 代表 杉橋隆夫)
▶A5判・484頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1358-0

平安京とその時代

瀧谷壽・山中章編
平安京をテーマに歴史・考古・地理学それぞれの視点からアプローチ
【内容】摂関盛期の天皇の葬送／外戚土師氏の地位／陽成天皇廃位の真相／王朝貴族と仏名会／祈年祭料の「白猪」と近江国／摂関期の身分集団と訴訟・復讐／平安京と地名研究の展望／摂関・院政期の京都における讃岐系軒瓦の動向／甕る古代京都の風景 ほか
▶A5判・488頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1497-6

日本古代商業史の研究

中村修也著 思文閣史学叢書
商人や市に関わる人々の存在形態を、交易の発生から出雲・平城京・平安京などにおける都市空間の生活の場で解析。古代における商人と商業の実態を解明。【内容】古代交易の発生／出雲地方にみる商人と民衆／平城京東西市の建設と藤原不比等の経済政策／奈良時代の市司就任氏族／古代貨幣の本質と形態／沽値法の性格とその変質 ほか
▶A5判・432頁／定価7,560円 ISBN4-7842-1268-X

※日本古代宮廷社会の研究

瀧浪貞子著 思文閣史学叢書
先入観を極力排し、奈良・平安時代を連続して考察することにより、光明子后論の盲点を衝き、学問的に忌避されがちな孝謙女帝の復権を果すなど創見に富む著者初の論文集。
【内容】Ⅰ皇位と皇統／Ⅱ場の政治学／Ⅲ宮都の構造／Ⅳ律令課役論断章
▶A5判・640頁／定価12,390円 ISBN4-7842-0677-9

今昔物語集の人々 平安京篇

中村修也著
虚実ないまぜ話柄の豊富な説話文学の古典から平安京という都市で生きる人々・商人・検非違使・怪盗・陰陽師・絵師たち一々のさまざまな姿を活写。【内容】都人の楽しみは神社詣で／不思議な力の商人たち／盗賊団の跋扈する都／平安京の冥界と霊力／都に生まれた芸術家／昔も変わらぬ食生活
▶A5判・220頁／定価2,415円 ISBN4-7842-1213-2

日本古代都市史研究 古代王権の展開と変容

堀内明博著
永年、平安京などの都市遺跡発掘調査に携わった著者の研究成果。長岡京の東宮と左京東院、平安京の条坊と市・町の形態、宅地と建物配置などの王朝都市から、白河・鳥羽殿、源氏・平氏の館などの中世前期都市まで、都城の展開と変容過程を時系列的に分析し、古代王権のあり方を考古学の成果を踏まえて解明した一書。掲載図版多数。
▶B5判・514頁／定価15,750円 ISBN978-4-7842-1457-0

歴史のなかの天皇陵

高木博志・山田邦和編
近年、学界の要請をうけて限定公開され、社会的にも大きな関心を集めている陵墓。各時代に陵墓がどうあり、社会のなかでどのように変遷してきたのか、考古・古代・中世・近世・近代における陵墓の歴史をやさしく説く。京都アスニーで行われた公開講演に加え、研究者・ジャーナリストによるコラムや、執筆者による座談会を収録。
▶A5判・340頁／定価2,625円 ISBN978-4-7842-1514-0

続々日本仏教美術史研究

中野玄三著
仏教美術史研究三部作の最新刊。50年に及ぶ中野美術史学の集大成。
【内容】縁起絵篇 縁起絵序説／『八幡縁起』の展開／宇良神社本『浦嶋明神縁起』について／談山神社本『多武峯縁起』について／北野天満宮本『聖廟縁起』について 仏像・仏画篇 木津川流域の薬師悔過とその仏像／観智院本『九曜秘曆』について ほか
▶A5判・820頁／定価17,850円 ISBN978-4-7842-1415-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。